

スタークル[®]液剤 10

■種類名：ジノテフラン液剤

■有効成分：ジノテフラン----- 10.0%

■登録番号：第21259号（三井化学アグロ登録）

■毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

■登録初年：2004.03.31

■性状：淡黄色澄明水溶性液体

■有効年限：3年

■包装：500ml×20本、10ℓ×2缶
20ℓ×1缶

【特長】

➢ 無人ヘリ・空中散布・地上液剤少量散布に登録のあるスタークル剤。

【適用内容】（2016年9月21日現在）

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農 薬の総使用回数
稲	—	ツマグロヨコバイ	16	1.6	収穫 7 日前 まで	3回 以内	無人ヘリコプター による散布	4回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は合 計1回以内、本田 での散布、空中散 布、無人ヘリ散布は 合計3回以内)
		カメムシ類 ウンカ類	1000	60~150			散布	
		カメムシ類	300	25			無人ヘリコプター による散布	
			8	0.8			空中散布	
			30	3			散布	
		ウンカ類	300	25			無人ヘリコプター による散布	
			16	1.6			空中散布	
			8	0.8			散布	
			30	3			無人ヘリコプター による散布	
		だいず		カメムシ類 フタスジヒメムシ			1000	
カメムシ類	8			0.8	無人ヘリコプター による散布 空中散布			
えだまめ		カメムシ類 フタスジヒメムシ	1000	100~ 300				2回以内
いよ葉散草	アブラムシ類							
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、ササ、ススキ、 セイタカアワダチソウ 等の多年生雑 草が優占して いる休耕田	カメムシ類	1000	60~150	—	3回 以内	散布	3回以内

【効果・薬害等の注意】

- 使用量にあわせて薬液を調製し、使いきること。
空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理すること。洗浄水はタンクに入れること。
- 本剤を空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - ◆ 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 少量散布（8倍液）の散布には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
 - ◆ 無人ヘリコプターによる散布にあつては、散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆ 散布薬液の飛散によって動植物および自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ◆ 作業終了後は次の事項を守ること。
 - ① 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理すること。
 - ② 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。

- ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。